

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「身近な河川に関することの研究」 報告書

助成番号：2020 - 7210 - 002

北海道帯広市立緑丘小学校

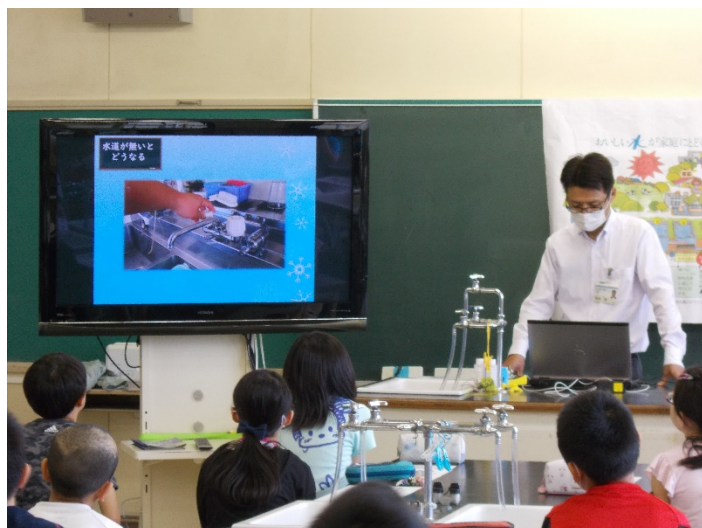
校長 澤 田 靖

2020 年度

助成番号	助成事業名		学校名												
2020-7210-002	身近な河川に関することの研究		帯広市立緑丘小学校												
校長名	澤 田 靖	担当教諭名	小 林 弘 幸												
過去の助成実績	なし (あり) [助成番号：2019-7210-009 助成事業名：身近な河川に関することの研究]														
キーワード	生物の観察 水質調査 課題解決学習 成果の発信														
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名) 小学生 (4年 73名)														
対象河川名	札内川・ウツベツ川	活動場所の指定状況	なし 子どもの水辺 (水辺の楽校)												
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ															
テーマ	十勝の川について調べよう														
ねらい	身近な川の実態を調べることで、川や環境について知るとともに自分達の生活とのかかわりを考え、自然環境保持のために社会の一員としての役割を考え、実行しようとする態度を育てる。														
評価の観点	①積極的に川とかかわり、課題解決に向けてできることを考え、行動しようとしているか。 ②調べたことや体験したことをわかりやすくまとめ、課題を明確にしなが自分なりの考えをまとめることができたか。														
活動時期	6月～12月														
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計									
上記の活動時間数	24時間	時間	時間	時間	時間	24時間									
支援者等 (複数記入可)															
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等									
(河川管理者)	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		(企業)	(その他)									
支援概要	・水質調査指導 ・安全指導 ・観察時の指導、安全確保 ・情報提供 ・授業計画の相談にもものっていただいています。 (・エールセンター十勝・帯広建設管理部・十勝多自然ネット・アークコーポレーション)														
活動成果	発表形態			成果作品											
	学級単位	(学年単位)	学校全体	発表ボード											
	対外発表 (保護者・関係機関【コロナで中止】)														
安全対策に関する課題															
・降雨による増水で初日の体験学習が延期となった。当日晴れていても2～3日前の降雨が影響することもあり、入念な現地調査、予備日設定が必要である。 ・現地の草刈り等の環境整備は、関係機関に協力してもらって十分に対応することができたが、衛生面での安全確保という意味では、水質・環境共にまだまだ十分だとはいえない。コロナ禍での活動だということを考えると、終了後の着替えや手指の消毒等は、もっと時間をかけて慎重に行う必要がある。															
活動の成果と今後の課題・展開															
・コロナ禍での活動だったので、時間の短縮や密の回避を考慮しなければならず、事前指導の質が大きく影響することを実感した。活動の趣旨や観察方法などの事前指導を、さらに時間をかけて具体的に行う必要がある。学習前には川の学習に躊躇していた子ども達も、指導員にたくさん質問したり、積極的に生き物とかかわったりと、自然にふれる楽しさや新しく知ることの喜びを感じるなど、学習意欲が高まったように感じられた。 ・昨年度より帯広建設管理部を中心とした「北海道の管理河川の川づくりワーキング」が発足し、ウツベツ川もその対象河川となっているようだ。今年度は、学校から1kmほど離れたウツベツ川下流でサクラマスの遡上が確認されたことで、サクラマスの遡上を促すための河川改修工事が行われた。これらのことからこのプロジェクトを軸とした教育課程の編成を試みることで、学習をさらに充実させていくことができるのではないかと模索中である。															
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)															
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期										
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	水質調査系	バックスト・生物指標	6月～9月										
			生物調査系	水生昆虫・生き物と環境	9月										

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P.46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7210-002	身近な河川に関することの研究	北海道帯広市立緑丘小学校 校長 澤田 靖



「上下水道出前授業」

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で校外学習が一切できなかったため、札内川や浄水場、下水処理場での活動は中止せざるを得ませんでした。そこで、市役所上下水道課の出前講座を活用し、帯広の水道水（札内川の水）の学習から間接的に札内川について学ぶことにしました。子ども達は、帯広の水が安全でおいしいことを学び、札内川が他県に誇れるきれいな川であることを理解はしていましたが、その川とウツベツ川がつながっていることには、実感がもてないようでした。



「バックテスト」

学校の隣を流れる「ウツベツ川」、そのウツベツ川が流れ込む清流「札内川」、そして札内川が流れ込み、下水処理場のある「十勝川」、3カ所のバックテストを実施しました。今回は、現地での活動ができなかったため、早朝にそれぞれの水を汲みに行き、教室で実施することになりました。結果は、札内川のきれいさに対し、ウツベツ川は汚れていることがわかり、中には、これから始まるウツベツ川の学習に対して不安を口にする子ども達もいました。



「ウツベツ川①（生き物観察）」

通学路横を流れる「ウツベツ川」。子ども達にとっては、とても身近な川ですが、実際に近くに行ってみると、汚れているので、子ども達にとって、まだまだ愛着のある川とは言い難いのが現状です。しかし、実際に川に入り活動を行うと、意外と多くの生き物がいることにびっくり！大きな歓声をあげながら、楽しんで活動する様子が見受けられました。ザリガニに触れなかった子ども達も、活動の終わりには自らつかんで観察する様子も見られ、逞しさを感じました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7210-002	身近な河川に関することの研究	北海道帯広市立緑丘小学校 校長 澤田 靖



「ウツベツ川② (生物指標による水質調査)」

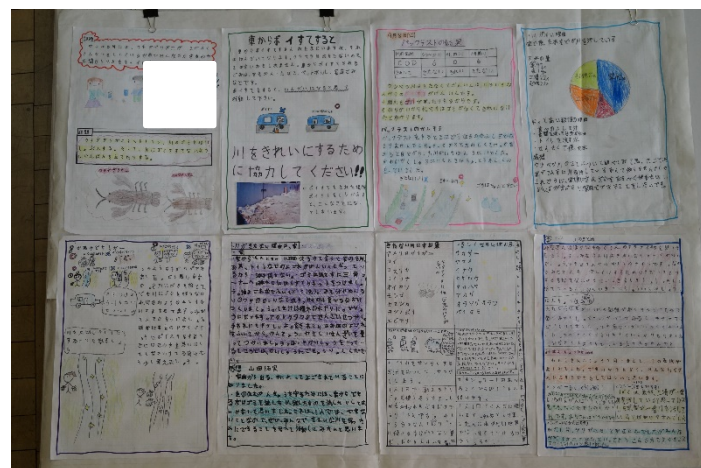
川での生物採取を終えた子ども達は、指導員の方と生物指標を基にして、ウツベツ川の水質について調べました。水生昆虫を基に調べると、あまりきれいな川ではないようですが、イワナやヤマメ等のきれいな川にいる魚を確認することもできたので、子ども達は、魚が棲みやすい環境にするためには、何が必要なのか？どうすればよいのかを考えていました。



「調べ学習発表会」

今回の発表会は、参観日にぶつけて保護者、地域住民、お世話になった関係機関の方々にも聞いていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で学年間での発表会となりました。

昨年の発表会と大きく変わった点は、子ども達の視点、より焦点化され、具体的になったことです。ウツベツ川での体験を通して、ただの調べ学習ではなく、自分達なりにしっかりと課題をもち、自分達の問題として考え始めたのだと感じました。



「発表ボードを活用した成果物」

昨年度同様、発表には「発表ボード」を活用しました。個の進度に合わせて作業が進めやすく、かつ、グループ学習としても時間のロスが少ないので、とても効率的に作業を進めることができます。また、評価資料としても個人の学習の様子がよくわかり、非常に使いやすいです。子ども達も個性を出しやすく、工夫しながら作業する様子が見られました。保管もしやすく、次年度の資料として最適です。

助成番号		助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7210-002		身近な河川に関することの研究	北海道帯広市立緑丘小学校 校長 澤田 靖
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所	ウツベツ川 札内川 十勝川	
	※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。 (縮尺は1/50万～1/100万程度)		
